

●工事状況

2021年6月ごろから稼働していた200tクローラクレーン（佐鳴号）が解体され、いよいよ建物周りの工事が佳境に向かおうとしております。

内装工事は全てのフロアで着々と仕上に入りだし、外装工事でも建物全体を覆っていた外部足場が概ね解体されました。また、上空連絡通路では鉄骨工事がひと段落し、内装工事・外装工事が始まりました。建物の外観が敷地外からも見えるようになってきましたので、お近くにいらした際にぜひご覧ください。

春も後半を迎え、気温も上がってきました。熱中症にも注意しながら安全に工事を進めていきます。

定点写真



●壁の向こうは・・・？

仕上工事でも後半に差し掛かり、現在床の仕上工事が進んでいます。住宅などではフローリングや畳等が材料としてなじみがあるかと思いますが、当作業所の仕上に多く採用されている材料としては長尺塩ビシートがあります。この材料は耐水性、耐久性に優れており、清掃も容易な点が特徴的です。そういった点から、学校やオフィスビルなどの様々な建築物で採用される材料です。さらには耐薬品性・耐摩耗性にも優れているため、医薬品を使用したり、ストレッチャー等が頻繁に行き来する病院にも適し、採用実績も豊富な機能性抜群な床材です。



●工程

	令和5年 5月	工事進捗率	73.2%
外構工事	上空連絡通路工事/ 付属棟工事	上空連絡通路工事/ 付属棟工事	
仕上工事	軽量間仕切壁/天井工事・内装仕上工事・外装工事	内装仕上工事・外装工事	
設備工事	建屋内設備工事・機器据付工事	機器据付工事・試運転調整	

●コラム《浜松まつり》

浜松まつりが5月3、4、5日に開催されました。今年は新型コロナウイルス感染拡大前の祭りに近い形での開催となり、町中が熱気と興奮に包まれた3日間になりましたね。昼は凧揚げ合戦が行われましたが、凧揚げの起源は450年前、当時、浜松（引間城）を治めていた飯尾連達に長男が生まれた祝いで凧を揚げたことと云われています。子どもの健やかな成長を願う、子どもたちに誇れるお祭りですね。

清水建設のコーポレートメッセージは「子どもたちに誇れるしごとを。」ですが、浜松まつりに負けないように熱気と誇りをもってしごとに臨んでいきたいと、コラムを書きながら身の引き締まる思いでした。



子どもたちへの想いで揚がる凧